

## 平成 29 年度 第 1 回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 平成 29 年 7 月 10 日 (月) 13 時 00 分～13 時 40 分
2. 場 所 富里市役所 3 階第 3 会議室
3. 出席者 大木みわ委員、横山智志江委員、越野記代子委員、  
渡邊薫委員、勝又千恵子委員、龍岡達子委員、  
西澤譲一委員、荒居久子委員、藤崎武彦委員  
(欠席者) 中島耕一委員、渡邊由美子委員、高嶋理恵委員  
荒野峰之委員、宮川朱実委員
4. 傍聴人 0 名
5. 議 題
  - (1) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について
  - (2) 富里市子ども・子育て支援事業計画について

### 6. 会議の経過

事務局：本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

会議に先立ちまして、高嶋委員、中島委員、宮川委員、渡邊委員が欠席、荒野委員におかれましては遅れて出席されることとなっておりますが、富里市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項により、本日の会議は成立しておりますことを御報告申し上げます。

今回の会議は、平成 29 年度第 1 回目の会議となります。

担当職員に変更がございますので、ここで事務局の紹介をさせていただきます。

それでは、健康福祉部長より順に自己紹介をお願いします。

よろしく願いいたします。

### 【各自自己紹介】

それでは、ただいまより、平成 29 年度第 1 回富里市子ども・子育て会議を開会いたします。まず、会長に御挨拶いただきたいと思います。龍岡会長よろしく願いいたします。

会 長：今回は平成 29 年度の 1 回目の会議となります。問題は山積しているようでございまして、待機児童の問題、保育士さんの不足やこどもの貧困化が叫ばれていまして、大切な問題だと思っております。富里では葉山と向台の認定こども園が開園して受け入れていただいております、また延期となっていた株式会社による保育所の開園も待機児童の解消に一躍担っていただけると期待し

ております。それでは、議題は、「特定教育・保育施設の利用定員の設定について」「富里市子ども・子育て支援事業計画について」の内容となります。皆様いつものようにきたんのないご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

それでは、富里市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、会議の議長を会長にお願いしたいと思います。龍岡会長よろしくお願いいたします。

会長：それでは、議題に入らせていただきます。本日の議題は、お手元の資料でございますとおり2件でございます。最初に議題の(1)「特定教育・保育施設の利用定員の設定について」事務局より説明願います。

#### 【事務局から説明】

会長：特定教育・保育施設の利用定員の設定について事務局より説明がございましたが、ご意見・ご質問ございますでしょうか。

委員：利用定員を50名に減らしたということですが、50名のほうが経営状況が良くなるというのはどのようなことですか。

事務局：認可を受けた後、国からの給付がござまして、この給付の率が利用定員が少ないほうが良いという構造になっています。

委員：資料1-1の3の施設長未定というところですが、経験者とか年数ということを考えて欲しいという意見が以前ありましたが、それについての言及はございますか。

事務局：施設長について先週あらためて確認したところ、保育について常勤・パートをあわせて10年と他に幼稚園で経験が3年、計13年の経験があるという方と最終的に交渉しているという情報がございました。

委員：利用定員の設定ですが、認可定員は60名、利用定員は50名で、4、5歳児で差があります。4、5歳児については待機児童もいませんし、募集しても集まらないということも聞いていますので、減らすことは問題ないと思います。利用定員というのは、認可定員を超えなければ良いものなのか教えてください。また、今後待機児童が出て、この定員より1人2人多かった場合など弾力的な受け入れというものが可能なのか、保育士の配置についても伺いたいです。

事務局：認可定員につきましては、経過措置ではありますが、2割まで増やすことが可能で、人数が増えた場合も弾力的に対応可能です。保育士の数につきましては、利用者の人数によります。

委員：来年度は引き上げるということですか。

事務局：来年度以降は園児数に応じて引き上げをしていくと聞いております。

委員：保育士の不足ということで、富里市の公立の保育園，幼稚園でも言えることですが，私たちが心配することではないかもしれませんが，どのような状況でしょうか。

事務局：保育士の確保につきましては，10名確保しているという報告を数ヶ月前から受けておまして，この株式会社が運営している保育園で研修を実施していると伺っております。

会長：その他ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは，議題の(1) 特定教育・保育施設の利用定員の設定については以上としたいと思います。続いて議題の(2) 富里市子ども・子育て支援事業計画について事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局から説明】

会長：富里市子ども・子育て支援事業計画について事務局より説明がございましたが，ご意見・ご質問ございますでしょうか。

委員：保育所保育指針の改訂が来年の4月に行われます。今ほとんど出来上がっている状況ですが，幼稚園の教育要領，保育所の保育指針，それらを総合するもので，これからは保育所保育指針が認定こども園も保育園も幼稚園も参考にできる，1本でできるということを聞いています。それが実行される前に幼稚園，保育園等々関係者を集めた研修会をやっていただきたいなと思います。

事務局：そのような方向で検討させていただきます。

委員：目標達成しているところもあり，最終的には0歳児の待機児童なのかなと思いますがいかがでしょう。

事務局：0～2歳児までのところで待機児童が発生していますので，今年度計画の見直しをする中で，この年齢の確保の内容を検討していかなければいけないと思っておりますが，行政で施設を増やしていくことは難しい面もありますので民間の力をお借りするなどの検討をしていければと思います。

委員：前の会議でも出たかもしれませんが，学校教育課の所掌する教務主任研修会の実施回数の31年度の目標値が20回となっていますが，これは厳しいと思いますがいかがでしょうか。

事務局：昨年度の会議でもこの指標についてご指摘いただいたところですが，今年度行っている見直しの中でこの目標値についても検討をさせていただこうと考えております。

委員：今年度コンシェルジュが保育園，幼稚園を訪問しながら，活動の拠点を伸ばしていますが，計画ではどこに位置付けられているのでしょうか。

事務局：基本目標の2，基本施策1の地域における子育て支援サービスの充実に位置付けております。

委員：子育て支援センター，幼稚園，保育園，保健師さんの健康相談，家庭相談員の虐待の相談など，市民にとっては誰にどんなことを相談していいのかがわかりにくいと思いますので，横の連携の強化をしていただきたい。

事務局：ご指摘のようなお話はございまして，妊娠期から子育て期における総合的な相談窓口について今後検討していきたいと考えております。

委員：目標値について，すでに達成しているものについてはもう少し上に設定していただきたいと思います。

会長：他に御意見等ございますでしょうか。特にないようでしたら，議題の(2)富里市子ども・子育て支援事業計画については以上といたします。本日のすべての議題は終了しましたので，事務局にお返しします。

事務局：次回は10月の下旬頃を予定しておりますが，事業者との協議は必要ですが，その頃には株式会社の保育園も開園していると思いますので，施設の視察ということも踏まえて検討したいと思います。

事務局：その他みなさまから何かございますでしょうか。次回の会議は，日程が決まり次第，あらためて御案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして，平成29年度第1回富里市子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。